

●水道民営化

Q.

いつも市民のためにありがとうございます。今回お伝えしたいことは、熊本の地震で被害にあった八千代市が水道民営化、ヴェオリアが経営しているそうです。住んでいる方達は断水という経験をされて間違った選択をしたと後悔されたことと思います。新発田市は大丈夫でしょうか？民営化には絶対しないで欲しいです。わがままを言えば市民が使える井戸とか欲しいです。新発田の地下水はなかなか難しいと聞いたこともあります。とにかく民営化には反対です。是非お願いします。

(令和8年8月受付)

A.

日頃より、当市の水道事業に御理解と御協力を賜り誠にありがとうございます。

命に直結する「水」は、私達の暮らしにおいて一日たりとも欠かすことのできない大切な資源です。水道は市民の皆様の生活に直結する重要なライフラインであり、将来にわたり安全で安心な水道水を供給し続けることは、私の揺るぎない責任であると認識しています。

現在、当市では効率的な水道事業の運営を推進するため、水道料金の徴収などの一部業務を民間事業者へ委託しています。しかし、水道水の製造や供給、老朽化した水道管の更新、そして災害時の対応といった事業の根幹に関わる業務につきましては、今後も市が責任をもって直営で遂行していきたいと考えています。

これからも、水道水の安定供給と水道事業の健全化を図るため、経費の節減や業務の効率化に努めながら、市民の皆様に信頼される安定した経営を続けていきます。

なお、御提案をいただきました井戸を掘削し、井戸水を提供することにつきましては、現段階では対応が難しいものと考えています。

(令和8年9月7日回答)

※上記の回答内容はすべて回答日時点のものであり、現在とは異なる場合があります。

●ゴミステーション管理などについて

Q.

以前も投稿したが、何も変化もなくむしろ状況は悪化していると感じた次第。広報した 9 月号にてごみ問題を扱っており、その中で新発田市のごみの量は減少化傾向にあるとの指摘があったが、当地区では全く該当しないと感じる。

拙宅は当該ゴミステーションから一番近く、場合によっては悪臭を感じる距離にある。分別していないゴミが本当に多く、ゴミなら何でもいいという概念が住民には既に浸透しており、これをくつがえすには抜本的な改革をしないと望めない。このような状態で他県等に見られる風水害や地震等の災害が当地区で起きたらどうなるのか、目に見える状況であり、従来の市長から言われている「住みやすい新発田市」には到底到達できない状況と推察できる。

一般市道の沿側には雑草が生い茂り交通の邪魔にもなる。以前の住民なら関係がなくても美化の意識で清掃活動により美化を保ってきたが、高齢化や空き家問題によりまさに本庁地区の状況は空洞化している状況。長野県上田市と千曲市そして新潟県燕市はゴミの量は新発田市の半分以下であり、ゴミステーション管理は住民が輪番で行っている。だから必然的にごみの分別やごみの量も減るのである。今後について、市当局と自治会連合会等で協議し改善していく問題かと思うが如何。自治会に任せっきりの今の市当局の対応ではなんの解決にもならぬと感じるが如何。まずは以前も提案したゴミ袋代の大幅な増額を行い、ゴミ袋を有効的に使うためのごみ分別を市民に訴えるしかないのではと感じるが如何。

最後に気になることを一つ。現在のごみ袋は二か所を縛る感じで中身が出てこない状態になり、子どもでもそのように始末するかと思うが、片方しか縛らず空いた状態でゴミステーションへ投入。きちんと搬入すれば問題ないのであるが、自己のものでもごみはゴミ。放り投げる状態でゴミは横になり、中身が出てくる場合もある。そんな状態をゴミ回収業者が機械的に回収していく。そこには街の美化意識をもたなく、ただ集めるだけが仕事だと割り切っているゴミ回収業者も如何なものか。回収の際ゴミステーション前に落ちたのは、適切にごみ袋を縛らない住民が悪いのだと、落ちたごみはそのままにし去っていく状態をどう感じますか？いろんなことが重なり合い悪臭そして悪習の根源になっていると実感する。住民をお客様感覚ではなく、共生社会の一員としてひとりひとりが地域にどう関わらせるかを、いくら選挙の票につながらずとも市長自ら訴えることも必要ではないかと思うが如何。

(令和 8 年 9 月受付)

A.

当市のごみ処理等を含む環境行政の課題に対し、問題意識を持って心をお寄せいただいていることに、心より御礼申し上げます。

さて、御指摘いただきましたごみステーションの管理や、違反ごみの問題等につきまして、ごみステーション近隣にお住いの皆様に御迷惑をお掛けしている現状を大変心苦しく感じております。

現在、市内には約1,700箇所のごみステーションが設置されており、各自治会・町内会では、輪番制などにより、日常的な維持管理が行われております。担当課に確認したところ、ルール徹底に関する周知啓発を行っており、違反ごみがなくきれいに維持管理されたごみステーションがある一方、違反ごみが後を絶たないごみステーションも散見され、地域の皆様から通報、御相談が寄せられているとのことであります。

御指摘のとおり、違反ごみ等の問題に改善の兆しが見られない場合、自治会・町内会からの連絡を待つのではなく、行政が自ら動き、改善に向けた取組を地域の皆様と一緒に進めようという姿勢がなければ、根本的な解決には至らないため、まずは地域の現状を把握し、課題解決に向けて取り組むよう、担当課に指示をしたところであります。

また、違反ごみや散乱したごみのある状況が、次の違反ごみを呼ぶ悪循環に陥る要因となることは、これまでの事例からも明らかであることから、ごみ収集業者への丁寧な作業を改めて指導するとともに、ごみ出しの基本的なルールについても、市民の皆様に向け、しっかりと啓発を行ってまいります。

併せて御提案をいただいております「ごみ袋の値上げ」につきましては、御指摘のとおり、ごみの減量・分別を意識付ける効果が期待できますが、減量・分別の推進には普及・啓発活動も大変重要でありますことから、広報等を活用した啓発の取組を進めながら、ごみ処理に要する経費や、他市の状況等を踏まえ、総合的に検討してまいります。

(令和8年9月8日回答)

※上記の回答内容はすべて回答日時点のものであり、現在とは異なる場合があります。